

「イノベーション都市・深圳を視察して」

面積：1952平方キロ

東京都：2193平方キロ



深圳視察団

2018.8.27～31

- 藤村幸義 拓殖大学名誉教授
- 菅野真一郎 東京国際大学客員教授
- 小山雅久 三菱商事調査部中国特命担当
- 雷海涛 桜美林大学教教授
- 杉本勝則 北京外大北京日本学研究中心客座教授
- 藪内正樹 敬愛大学総合地域研究所長・経済学部教授
- 岡田実 拓殖大学国際学部教授
- 星屋秀幸 森ビル特別顧問

I。発展する深圳

1976年

42年前の深圳駅



橋の手前は深圳
向こうは香港



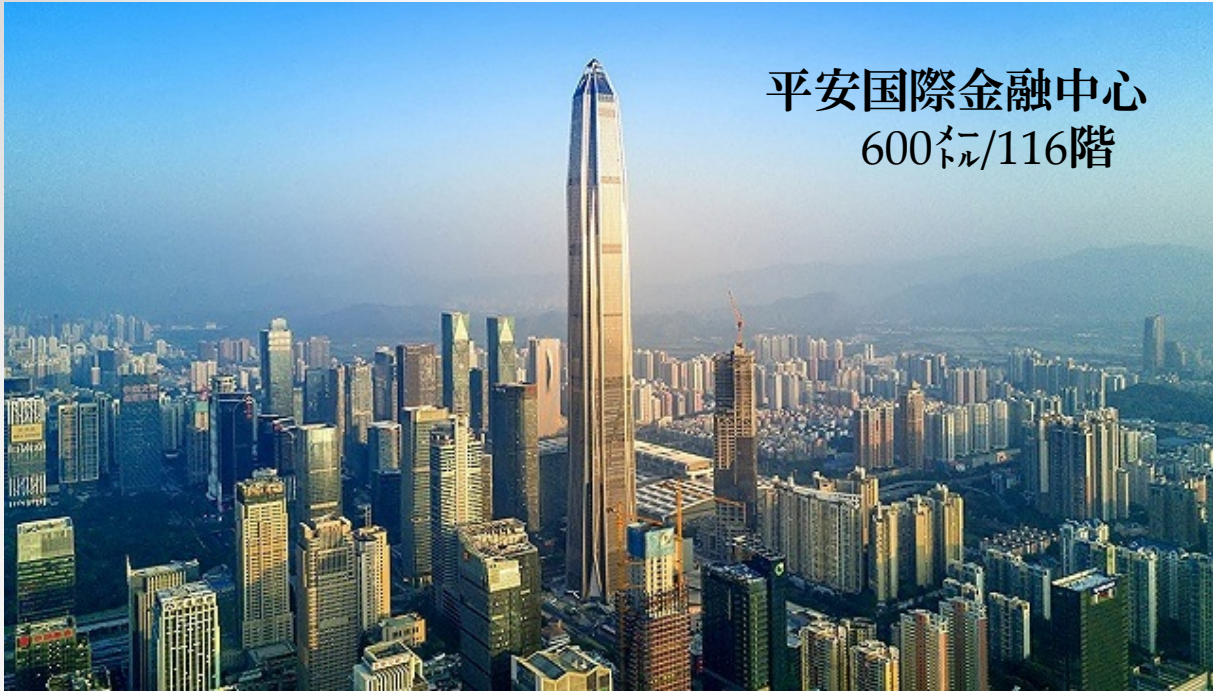
この黒塗りの橋を徒歩で渡って
香港から深圳へ

深圳駅の周辺



東側：のどかな田園風景





平安国際金融中心
600メートル/116階

今の深圳

駅の周辺



近未来都市

ドローンがブンブン飛び、LEDはキラキラと輝き、ホバーボードは走りまくり、町中にIoTシェアサイクルやEVのタクシーやバスが走り回り、屋台では皆がスマホで電子決済する。

スマホ
で予約



これは何？“老人視察団”が興味津々！

堅持黨的基本路線一百年不動搖



1996年



1992年

不堅持社會主義、不改革開放、不發展經濟、不改善人民生活、只能是死路一條

深圳の発展推移

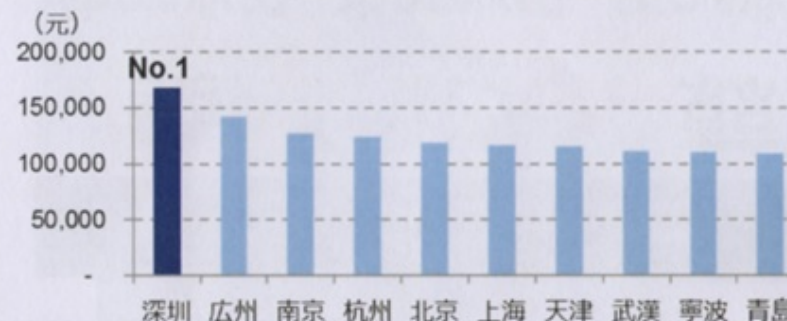
～1979年	改革開放以前	人口3万人の漁村
1979～2002年 第一段階	<ul style="list-style-type: none">●労働集約型●労働者賃金はほとんど上がらず	<ul style="list-style-type: none">●1979年「経済特区」指定●外部から出稼ぎ労働者流入
2003～2011年 第二段階	<ul style="list-style-type: none">●産業のグレードアップ●付加価値向上、産業高度化	<ul style="list-style-type: none">●賃上げ・労働条件改善の動き●汪洋書記が「騰籠換鳥」戦略
2011～現在 第三段階	<ul style="list-style-type: none">●技術開発・起業の拠点 <p>「大衆創業・万衆創新（大衆の起業・万民のイノベーション）」（李克強：2014年9月）</p>	<ul style="list-style-type: none">●深圳市は戦略新興産業を選定●5G、AI、医療、ライフサイエンス、ロボット、電気自動車、ウェアラブル端末、ドローン等

1人当たりGDPは中国no.1

中国の都市別GDPトップ10（2017年末時点）



都市別一人当たりGDPトップ10（2017年末時点）



(出所) CEIC

昨年、香港を追い抜く

GDP比較 (2017年度、東京2016年度)

香港	深圳	東京
約36兆円	約38兆円	約94兆円

香港製造業
GDOPの1.1%

Ⅱ. 深圳の特徴

人口1191万人

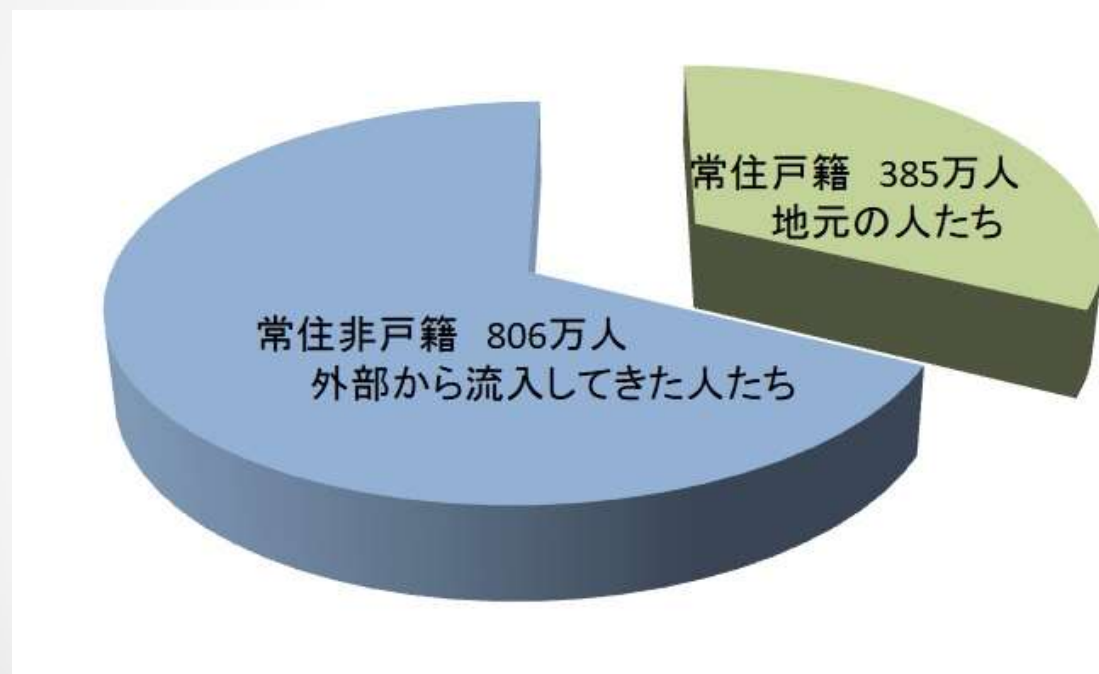
平均年齢: 32.5歳

その1: 若者の街

DJIは平均26歳

OPPOは30歳

初任給1万元



8万人



最近は「海亀」も多い
台湾から「脱台者」も

UBTEC (ユニコーン企業)

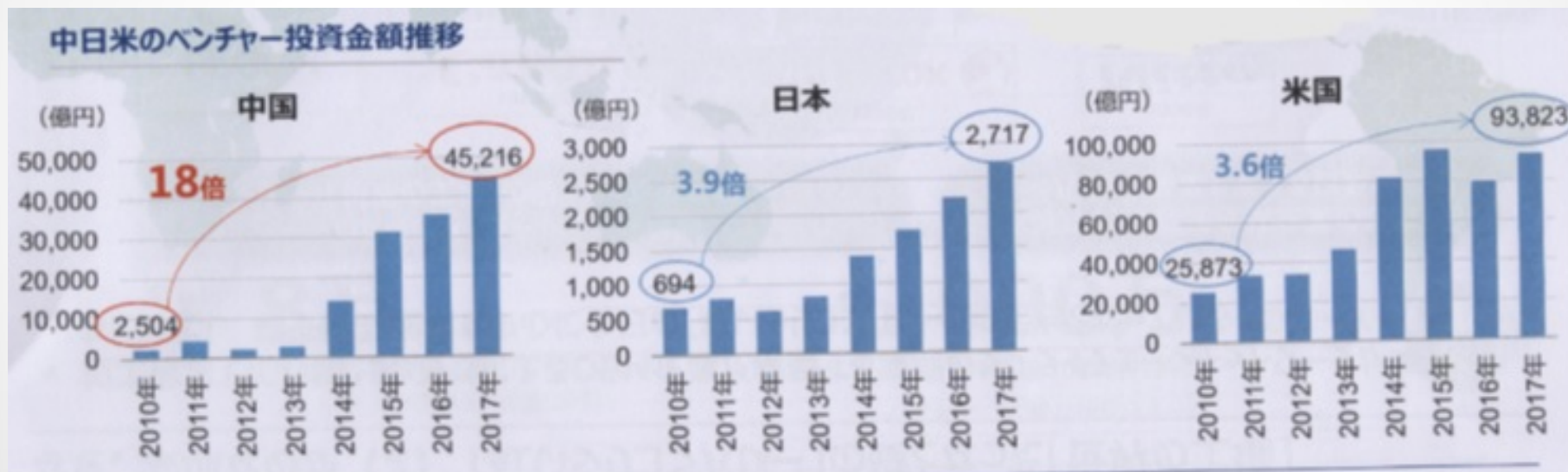


マイクロソフトに20年
呉牟雄/Senior VP of R&D

その2：豊富な資金

- ①ベンチャーキャピタル(VC)
- ②政府補助金
- ③成功した企業からのファンド

●ベンチャーキャピタル 著名なVCが100社



中国=4.5兆円

日本=2兆7000億円

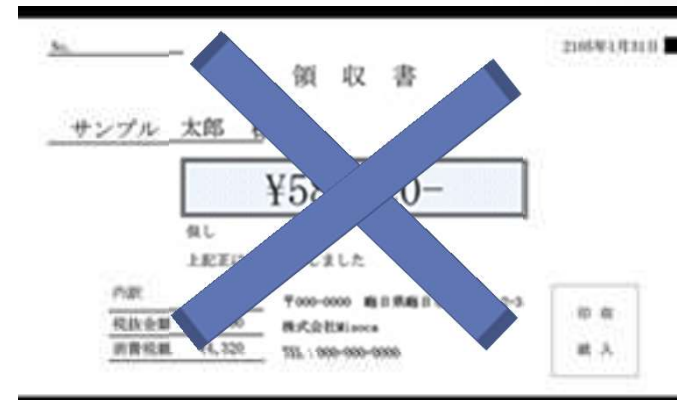
米国=9兆3000億円

●政府補助金 (特に深圳市政府)

東京工業大学45億円

清華大学深圳研究生院：年3億元の科研＝50億円

教授、海外から帰ってくるだけで200万元。



BYDはEVへの補助金打ち切りのうわさで
株価急落

その3：中央政府から遠い

ファーウェイの任正非さん（CEO）は、共産党との関係をきらう。外部との接触を「ためにならない」として嫌う。

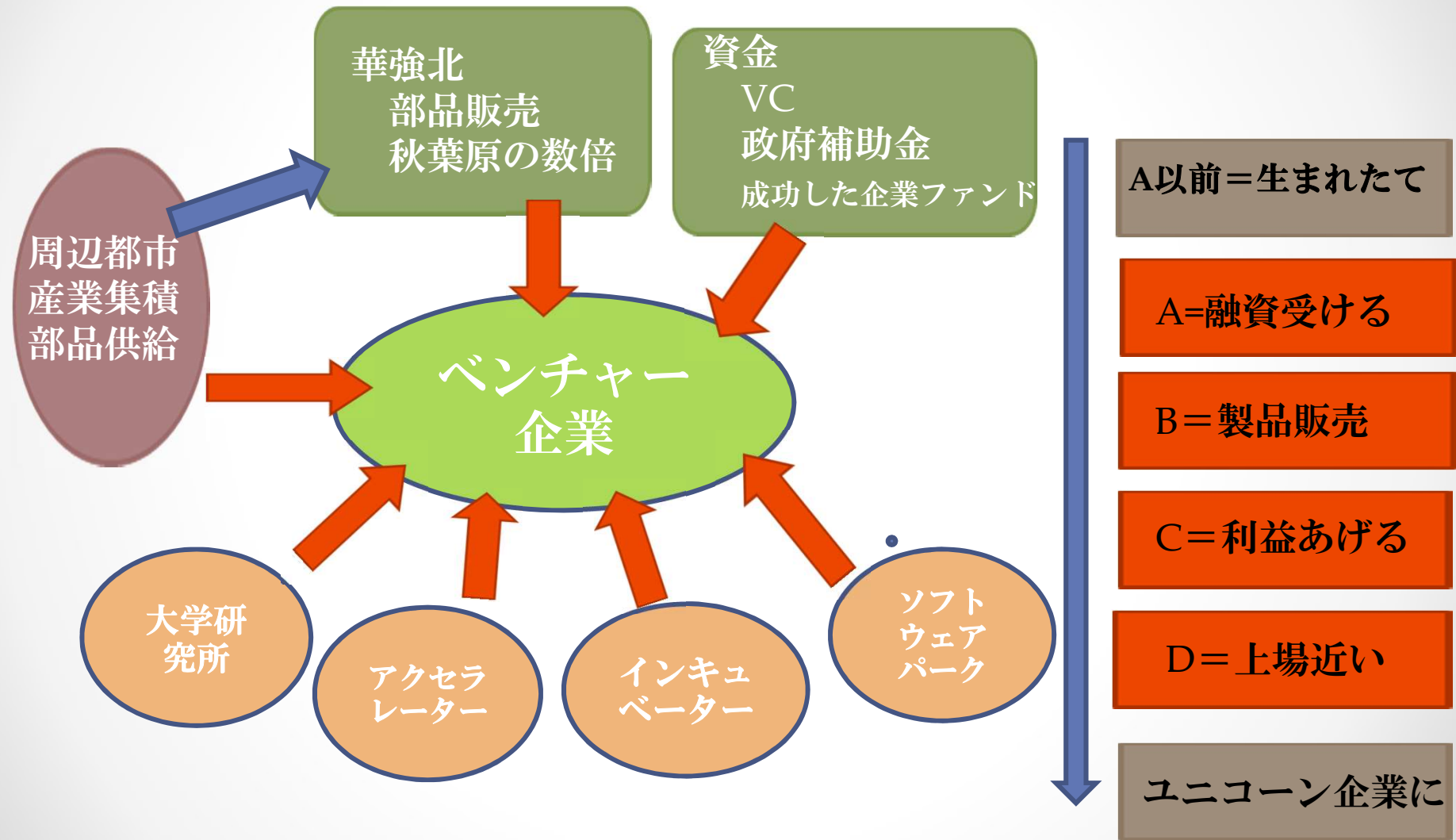
同社には党支部はない。軍出身だが、そのようなにおいはない。労働契約法も守っておらず、解雇をどんどんやってしまう。

一方、テンセントは政治と付き合うので、歯切れ悪し。



共産党も忘れないで！

Ⅲ.イノベーションの仕組み



深圳スピード

- シリコンバレーであれば1~2年かかるところ、深圳市では3~6カ月で可能
- 3分の1程度の価格

オープンイノベーション

- 技術情報やアイデアをネット上でオープンに交流、それらアイデアを製品化するためのアドバイスを互いに行うメイカーズフェア、メイカーズスペースという独特のモノづくり広場システム



特許申請

中国の国際特許出願件数のうち約半分(46.6%)が深圳。うち約半分を南山区が占める。

16

■ 2016年中国企業国際特許出願(PCT)国際出願

企業名	PCT 出願件数	国内 順位	世界 順位	地区
ZTE	4,123	1	1	深圳
華為	3,692	2	2	深圳
京東方	1,673	3	8	北京
華星光電	1,163	4	16	深圳
Alibaba	448	5	34	杭州
小米	298	6	64	北京
宇龍計算機	256	7	79	深圳
吉瑞科技	201	8	95	深圳
DJI	197	9	98	深圳
Tencent	172	10	109	深圳

何を作っているか

2016年



品目	生産量
ノートブックPC	728万台
新エネ車	6万台
デジカメ	219万台
携帯電話	3億8881万台
カラーテレビ	3883万台
液晶ディスプレイ	7億8642万枚
電子部品	1251億個



華強北 秋葉原の30倍

PC、スマホ、ゲームなどあらゆる電子機器の部品を取り扱う

1階から10階に3000店舗



• 28の巨大ビル、1日50万人 •



アクセラレーター

市内に400社

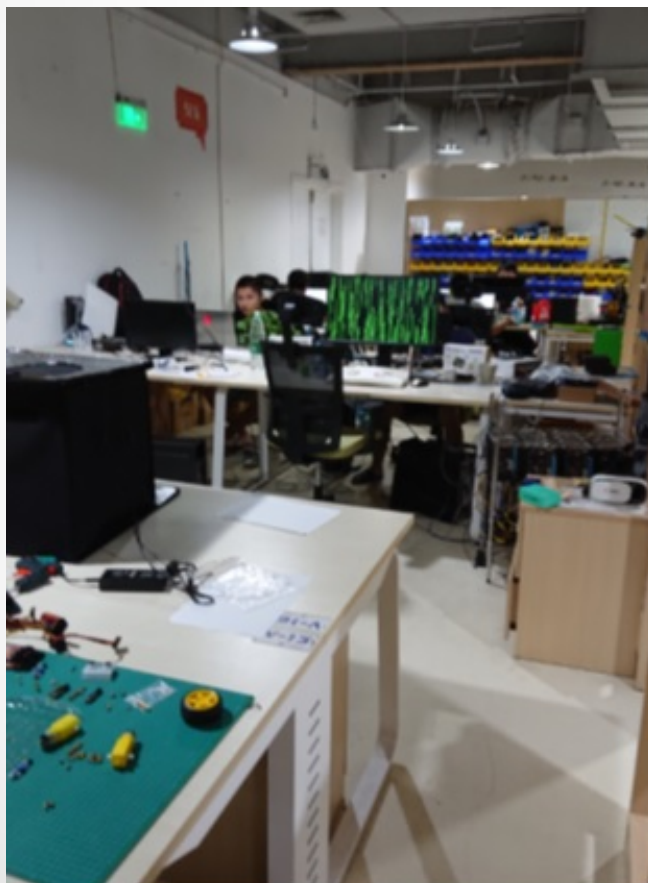
「科技寺」(TECHTEMPLE)



スペース借りるのに、1社月1500円

インキュベーター（メーカースペースズ）

250ヶ所



南山ソフトウェアパーク



深圳の特許の半分はここから



清華大学深圳研究生院



院生が1万1000人



- 2001年4月設立。清華大学と深セン市の共同で立ち上げた大学院大学。
- 研究成果の商用化やグローバル・イノベーションを目指す。
- 学科分野は、バイオ、エネルギーと環境、情報科学、物流と交通、先端製造、海洋科学など。

IV. 成功したベンチャー企業

OPPO

- 2017年IDC統計：OPPOは中国で2位、世界で4位の市場シェア、販売台数1.2億台弱。2015～17年は年150%の成長率で進展。



美顔技術
高速充電

自撮りがきれいに
最速35分

BYD



2017年、自動車41万台、うち新エネ車13万台、EV 商用車2万台。2018年1~7月はEV車7.1万台を販売。

深セン市内のタクシー、バスは全部BYD製のEV車（タクシーは2018年末に全部替える予定）



DJI



Phantom4 Pro



OSMO



ジンバル



DJI深圳旗舰店



バッテリー充電器開発が遅れ
最安値699元

技術レベル

社会実装型 ジェネリック？

- OPPO

CPU、ディスプレイは自前。メモリーは東芝、OSは米国から。

- BYD

エンジンは三菱自動車から。

- ファーウェイ

半分近くの部品は外国から。

- 中興通迅(ZTE)

米国から部品止められ、一時生産停止に。

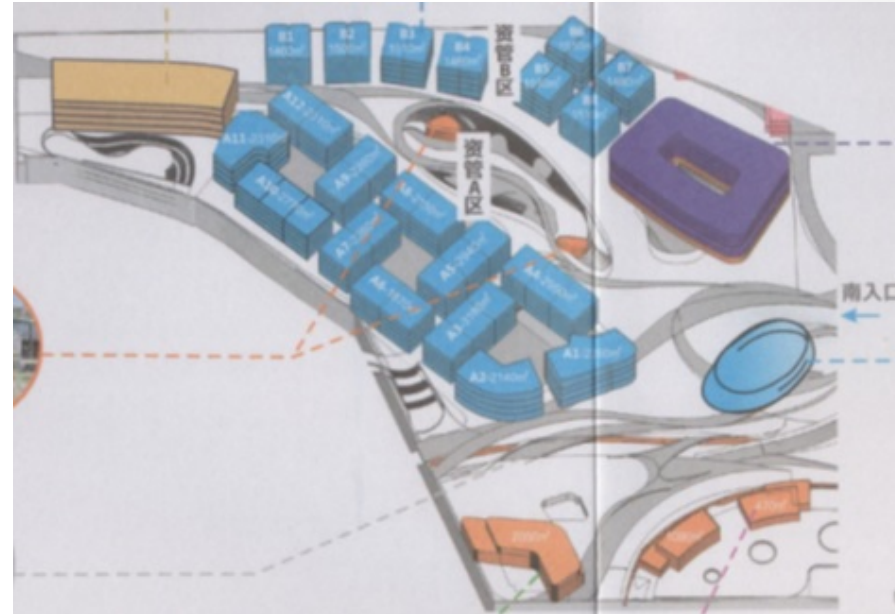
V. これからの深圳

深圳が華南経済の中心に 「大湾岸经济圈」形成



深圳～香港 高速鉄道で15分

前海自由貿易区＝特区の中の特区



金融エリア「Fund Town」。世界中の投資家（ファンド）を誘致。既に30数社が入居の意向

バブルの匂いも

特に香港企業誘致に力

VI. 日本の食い込む余地はあるか？

これまでの日本企業進出



キャッシュレス化、ペーパーレス化で日本勢は苦戦

沖電気

プリンター、ATM共受注激減の状況。特にATMはピーク時の9割減と深刻な状況

日本企業、復活なるか

- ファンドではかなわない

日本のベンチャーは1件1億円以上、深圳は10億円以上

- 中核部品の提供（日本の技術を生かして）

深圳はある程度出来上がっているものが多いので、それを日本に持っていくとよいかも。

あるいは、日本から技術を持ち込み、深圳で製品化



安倍首相、深圳訪問決定か

再びブームになるか？

- 伊藤忠が事務所を再開。
- 广汽トヨタ：深圳での取り組み強化。電子部品供給。車もボリュームゾーンに投入へ。
- EVの「水素」、李克強が訪日時に強い関心示す。

